

# CSR アクションプラン

日本化薬グループは、KAYAKU spirit 「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」を達成することによりCSR経営を行ってまいります。事業活動と連動したCSRアクションプランをご紹介します。

## 2012 年度 CSR アクションプランの目標と結果

日本化薬グループの事業活動と連動した2012年度CSRアクションプランの自己評価をまとめました。

CSR項目	アクションプラン	2012年目標	2012年度の結果	評価
社会と経済の発展	社会貢献活動の推進	社会貢献活動の推進	社会貢献活動の推進	○
	社会貢献活動の推進	社会貢献活動の推進	社会貢献活動の推進	○
	社会貢献活動の推進	社会貢献活動の推進	社会貢献活動の推進	○
	社会貢献活動の推進	社会貢献活動の推進	社会貢献活動の推進	○
社会と環境の調和	社会と環境の調和	社会と環境の調和	社会と環境の調和	○
	社会と環境の調和	社会と環境の調和	社会と環境の調和	○
	社会と環境の調和	社会と環境の調和	社会と環境の調和	○
	社会と環境の調和	社会と環境の調和	社会と環境の調和	○
社会と人々の調和	社会と人々の調和	社会と人々の調和	社会と人々の調和	○
	社会と人々の調和	社会と人々の調和	社会と人々の調和	○
	社会と人々の調和	社会と人々の調和	社会と人々の調和	○
	社会と人々の調和	社会と人々の調和	社会と人々の調和	○
社会と文化の調和	社会と文化の調和	社会と文化の調和	社会と文化の調和	○
	社会と文化の調和	社会と文化の調和	社会と文化の調和	○
	社会と文化の調和	社会と文化の調和	社会と文化の調和	○
	社会と文化の調和	社会と文化の調和	社会と文化の調和	○

### ▶ 2012年度CSRアクションプラン PDF



PDF形式のファイルをご覧になるためにはAdobe Readerが必要です。  
Adobe Readerをお持ちでない場合は、左のアイコンからダウンロードして下さい。

## 中期 CSR アクションプラン

日本化薬グループでは、2013年4月より、2016年の創立100周年を目指した新たな3か年中期事業計画**Challenge 100A!** (Challenge toward our 100th anniversary)を開始しました。これに伴い、**Challenge 100A!** 期間中に取り組む中期CSRアクションプランを設定しました。本中期CSRアクションプランを全役員・従業員に徹底し、CSR経営への意識を高めるとともに、全員一体となった取り組みを進めてまいります。

分野	No.	Challenge 100A! 中期CSRアクションプラン	2013年度	CSRアクションプラン	CSR100A!の進捗			
					達成率	目標	進捗	達成率
経営	1	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	2	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	3	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	4	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	5	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	6	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	7	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	8	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	9	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
	10	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	経営活動の透明性の向上	○	○	○	○
社会的責任	11	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	12	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	13	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	14	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	15	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	16	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	17	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	18	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	19	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
	20	社会的責任の履行	社会的責任の履行	社会的責任の履行	○	○	○	○
環境責任	21	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	22	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	23	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	24	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	25	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	26	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	27	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	28	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	29	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○
	30	環境責任の履行	環境責任の履行	環境責任の履行	○	○	○	○



# 2012年度CSRアクションプランの目標と結果

日本化薬グループの事業活動と連動した2012年度CSRアクションプランの自己評価をまとめました。

CSR活動	アクションプラン	2012年目標	2012年度の結果	評価		
基盤となるCSR活動	事業継続性を確保する	・BCPに関する規程・マニュアルを充実 ・教育・訓練等を実施	・BCPに関する6規程の制定、危機管理マニュアルと危機管理委員会規程の改定 ・BCP訓練の実施	◎		
	企業ビジョン、CSRを啓発する	・研修は内容を充実させて継続 ・CSR関連プロジェクトの組織横断的運営 ・会議・社内誌などによる啓発活動(継続)	・CSR研修の継続(14回) ・CSRプロジェクト運営(11部署13名参加) ・啓発活動継続(社内報による啓発:6回、各種会議における啓発継続)	○		
	コンプライアンスを啓発する	・全従業員を対象にしたコンプライアンス研修の実践として昨年度実施できなかった医薬営業所での研修を実施 ・コンプライアンス・アンケートの更なる改正(設問および選択肢の工夫)	・41ヵ所2,669名にコンプライアンス研修を実施 ・法令社内規則とハラスメントに具体的な選択肢を設けるなどアンケートの設問を改正	○		
	事業の課題を主体的に解決する	・集団創造活動テーマ登録件数:110件以上	・集団創造活動活性化検討会や交流会等の実施 ・登録件数:78件	△		
社会的責任を果たすCSR活動	顧客	信頼性を確保する	・「日本化薬と医療機関などとの関係の透明性に関する指針」に基づく情報公開の準備(項目ごとの集計状況確認、公開へ向けてのシミュレーション実施) ・農業安全使用のために現地指導を継続実施	・公開へ向けて準備中 ・農業安全使用のために現地指導を実施、指導回数は昨年を上回る	○	
		社会	社会の健康に貢献する	・ピンクリボン活動の継続 ・啓発グッズ配布活動を全社へ拡大(3事業場) ・ピンクリボン社内ウェブサイトの継続	・ピンクリボンバッジ・ステッカーの着用・添付 ・啓発グッズの配布(6事業場) ・ピンクリボン社内ウェブサイトの継続	◎
	地域貢献活動を行う		・「あすなろの家」の継続的な管理運営 ・運営体制を見直し、より使いやすい施設とする	・「あすなろの家」2012年(暦年)利用者:153家族 ・館内用空調設備の更新	○	
	安全な職場環境を実現する		・工場祭(来場者10,000名) ・公開講座や会社見学を積極的に開催	・工場祭(5事業場9,000名来場) ・公開講座・会社見学会(4回)	○	
	従業員	安全な職場環境を実現する	・各拠点での災害対策の拡充 ・重大事故災害、休業災害、無傷害事故:0件、不休業災害度率1(5件)以下 ・医薬MR業務上および通勤途上自動車事故率:4%以下	・耐震基準に基づく拠点整備実施。全支店・営業所に25年保存サバイバルフード備蓄完了 ・重大事故災害0件、休業災害0件、無傷害事故:0件、不休業災害度率:0.43(2件) ・自動車事故率:11.9%(40件)	○ ◎ △	
		ワークライフバランスを充実させる	・安全性のレベル向上を目的とし、安全意識浸透のための教育プログラムにより、火薬類安全教育を実施する(継続)	・配属5年未満の工場・研究所従業員を対象に、保安教育、保安実験を実施 ・火薬類に関する事故の発生:0件	○	
		健康な職場を作る	・有給休暇の取得率向上 ・時差勤務制度・ノー残業デーの合理的な運用	・一人当たり有休取得日数の増(9.3日→10.0日) ・各事業場ごとに年2回、労使からなる労働時間専門委員会で、実績の評価を実施	○	
		多様性のある職場を作る	・メンタルヘルス研修:3カ年計画受講率100%(3カ年計画を再度スタート) ・健康診断:受診率100% ・長時間労働者対応:面談受診率100%	・メンタルヘルス研修:3カ年計画受講中(3カ年計画の1年目) ・健康診断:受診率100% ・長時間労働者対応:面談受診率100%	○	
		働きやすい職場を作る	・障がい者の積極的な雇用の継続	・特別支援学校からの定期的採用開始	○	
		人権を尊重する	・社内報に通報・相談Q&Aを掲載し、通報・相談窓口の周知を図る ・通報・相談に適切に対応	・社内報に通報・相談Q&Aを掲載し、周知を徹底 ・内部通報・相談9件に適切に対応	○	
		社内情報を共有化する	・社内報やイントラネットなどを用いて情報発信し、社内情報の共有化	・社内報の発行(20回)	○	
	環境責任を果たすCSR活動	顧客	グリーン調達を拡大する	・原材料および間接材のグリーン調達実績の集計を実施	・原材料および間接材のグリーン調達比率:各々の全購入金額に対して23%および6%	○
			化学物質に対する規制を順守する	新たに発足した化学物質管理室を中心に、 ・化学物質規制に関する教育プログラムを充実させ、化学品コンプライアンスのボトムアップ ・MSDgen運用の効率化を推進し、上市品および開発品SDSの作成・改訂に迅速に対応 ・ORSを用いてサプライチェーン間でREACH輸入者情報を伝達できるよう、サプライヤー、ユーザーへの働きかけを進める	化学物質管理室を中心に、 ・輸出入、サンプル提供に関する法令チェック体制・ルールの整備および教育を実施 ・承認体制の充実によるSDSの品質向上と納期短縮 ・ユーザーからのREACH輸入者情報を確実に自社OR(Only Representative)やサプライヤーに報告	○
社会		海外生産基地の環境負荷を低減する	廃水のCOD負荷を減らすとともに、脱色を狙う取り組みをさらに継続 ・招遠先進化工有限公司(中国):廃水の電気分解設備の稼働を開始する ・無錫先進化工有限公司(中国):活性汚泥処理設備の拡充を図り、新製品導入に対応する	廃水COD負荷軽減と脱色を狙った取り組みとして、 ・招遠先進化工有限公司(中国):吸着凝集処理設備を導入し、COD、色度等を低減し、新排水基準へ対応 ・無錫先進化工有限公司(中国):前処理である化学処理施設への投資による活性汚泥除去率の向上⇒今後5年間の増産、新製品導入に関わる排水処理対応の準備を完了	◎	
		化学物質排出量を削減する	2020年度までの中期環境目標 ・VOC排出量:政令および日本化学工業協会が指定される化学物質だけでなく、大気に放出されるすべての化合物有機化学物質を集計して年間45t以下 ・COD排出量:年間180t以下	2012年度までの途中経過 ・VOC排出量:81.4t(前年度92t、11.1%減) ・COD排出量:124.1t(前年度124t、前年度と同等)	○	
		廃棄物の発生量を抑える	2020年度までの中期環境目標 ・廃棄物発生量:30,000t以下 ・埋立廃棄物量:ゼロエミッション率3%以下 ・リサイクル率の向上:70%以上	2012年度までの途中経過 ・廃棄物発生量:20,423t(前年度22,298t、8.4%減) ・埋立廃棄物量:ゼロエミッション率7.9%(前年度13.1%、5.2%減) ・リサイクル率の向上:61.8%(前年度63.5%、2.8%悪化)	○	
		地球温暖化を防止する	2020年度までの中期環境目標 ・業務系を加えたエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量を1990年度比15%以上削減	2012年度までの途中経過 ・業務系を加えたエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量:72.9千t、1990年度比24.2%減(前年度75.8千t、3.8%減)	○	
経済的責任を果たすCSR活動	顧客	患者様に貢献する製品を開発する	・抗がん薬内包高分子ミセル<NK105>PIII開始<NK012>PIの終了とPIIIの検討 ・抗体医薬品バイオシミラー:申請準備と新規PI/PIII比較試験、臨床試験計画策定 ・血管塞栓用マイクロファイア:国内製造販売承認申請とフォロー	・抗がん薬内包高分子ミセル<NK105>PIII開始 ・抗体医薬品バイオシミラー:国内製造販売承認申請準備中(2013年9月:申請) ・血管塞栓用マイクロファイア:国内製造販売承認申請(2013年6月、製造承認取得)	○	
		環境に優しい製品を拡大する	・機能化学品:環境対応型半導体封止材の売上比率:対前年2%アップ ・自動車用安全部品:品種毎に軽量化目標を設定し開発を推進(継続) ・食品添加物を用いた新規農薬の検討	・エポキシ樹脂関連製品全体の売上に占める、グリーン材(環境対応型半導体封止材含む)の売上比率:70.1%(前年より約5%アップ) ・SE(Simultaneous Engineering)活動を通じた新製品の開発(2013年度に1品目上市予定) ・昆虫の呼吸器官である気門を塞いで効果を発揮する殺虫剤の開発進捗	○ ○ ○	
		情報提供体制を充実させる	・新たながん専門MR制度の運用とMRのレベルアップ ・情報端末を活用した迅速な副作用対応体制の確立	・専門MR育成システム運用開始 ・情報端末を活用した副作用対応体制を整備、運用開始	○	
		最良の製品を提供する	・重大顧客クレーム(損失金額1,000万円以上):0件 ・重大品質工程異常(損失金額1,000万円以上):0件	・重大顧客クレーム(損失金額1,000万円以上):0件 ・重大品質工程異常(損失金額1,000万円以上):2件	△	
		人に優しい製品を開発する	・ポップアップエンジンフード、シート座面持ち上げデバイス等に用いるガス発生器の開発進捗を通じ、さらなる自動車の乗員保護技術および歩行者保護技術の発展に貢献する	・ポップアップエンジンフード用ガス発生器の上市:2品目	○	
		株主	情報発信力を強化し、情報開示を進める	・継続:適切な決算説明会・取材対応・情報開示により株主の信頼を獲得する	・決算説明会(2回)・取材対応・ウェブサイト上での情報開示	○

◎:十分に目標を達成、○:ほぼ目標を達成、△:実現に向け努力中

# MID-TERM CSR ACTION PLAN

## 中期CSRアクションプラン

日本化薬グループでは、2013年4月より、2016年の創立100周年を目指した新たな3か年中期事業計画 **Challenge 100A!** (Challenge toward our 100th anniversary)を開始しました。これに伴い、**Challenge 100A!** 期間中に取り組む中期 CSR アクションプランを設定しました。本中期 CSR アクションプランを全役員・従業員に徹底し、CSR 経営への意識を高めるとともに、全員一体となった取り組みを進めてまいります。

分類	No.	Challenge 100A! 中期CSRアクションプラン	2013年度 CSRアクションプラン	ISO26000との対応							
				組織統治	人権	労働慣行	環境	公正な 事業慣行	消費者 課題	コミュニティ 参画および発展	
基盤	1	従業員のCSRとコンプライアンスに対する意識を向上させる	グループ会社を含めたCSR・コンプライアンス研修		◎				○		
	2	有事発生時においても事業継続性を確保する	防災対応を含めたBCPマニュアルの整備と訓練	ITシステムの被災リスク低減と迅速な復旧環境の確保(2014年度完了)	◎				○		
社会的責任	3	化学物質に関する規制を順守する	化学物質規制に関する社内教育プログラムの充実、SDS*開示へ適切な対応				◎	○			
	4	がんとかん関連分野における研究・開発・製品情報提供により社会に貢献し続ける	血管塞栓用マイクロスフェアの上市と抗がん薬内包高分子ミセルの開発推進	医薬品情報センターのさらなる充実による安全管理、品質向上					○	◎	
	5	従業員の火薬類取り扱いに関するスキル・知識の習熟を徹底する	火薬安全維持推進チームによる階層別教育プログラムの実践							◎	
	6	農業安全使用のための現地指導を継続実施する	販売窓口への訪問(販売員一人あたり150回/年)の実施				○			◎	
	7	サプライヤーと連携したCSR調達を推進する	CSR調達基準の策定					◎			
	8	重大事故災害による環境影響や労働災害を未然に防止する	重大事故災害、休業災害、無傷害事故:0件 不休業災害度率1(5件)以下	医薬MR業務上および通勤途上自動車事故率:4%以下	○		○	◎			
	9	顧客苦情・品質工程異常を低減する	重大顧客クレーム(損失金額1,000万円以上):0件	重大品質工程異常(損失金額1,000万円以上):0件					○	◎	
	10	地域社会とのコミュニケーションを行う	「あすなるの家」運営を通じ、難病とたたかう子どもの家族をサポート	ピンクリボン活動・工場祭・地域との懇談会・地域清掃活動・公開講座の実施							◎
	11	ステークホルダーに対して適時適切な情報発信を行う	ステークホルダーとのコミュニケーション推進、わかりやすいウェブサイトづくり	決算開示の早期化の推進、IFRS(国際財務報告基準)への対応準備	◎					○	
	12	多様な人材を活用・育成する	ダイバーシティの拡大~障害者雇用率の向上、女性管理職の登用促進、高齢者の能力活用	グローバル化に対応する取り組み~グローバルマネジメント人材の育成、外国人の雇用に伴う教育体制の強化、支援体制・各種制度の整備・拡充		○	◎				
	13	従業員の安全と健康に配慮し、ワークライフバランスのとれた労働環境を提供する	健康的な職場づくり~メンタルヘルス研修:3か年計画受講率100%、健康診断:受診率100%	ワークライフバランスの向上~有給休暇取得率向上、次世代育成支援対策促進、長時間労働者面談受診率:100%		○	◎				
	14	人権とプライバシーを守る	通報・相談窓口の適切な運用、人権・パワーハラスメント教育の実施			◎	○				
環境責任	15	グリーン調達比率の向上を図る	間接材購買システムの推進によるグリーン調達実施状況の把握				◎	○			
	16	環境へ配慮し、中期環境目標を達成する	化学物質排出量の削減:2020年度までの中期環境目標達成に向けた取り組み				◎				
	17	廃水処理技術を向上させ、環境規制に対応する	海外グループ会社を含めた新規廃水処理技術の開発検討~有色廃水の高度処理による新規脱色技術の検討	高濃度窒素含有廃水の新規脱窒方法の検討 新規有機物分解システムの探索				◎			
	18	より一層のエネルギー低消費型企業を目指す	各事業場省エネルギーアクションプランの策定				◎				
経済的責任	19	持続可能な企業グループとして安定的な収益を確保する	グループ経営の充実~本部サポート体制の強化による各グループ会社の活性化	効率的な資本の運用~バランスシート適正化・安価購買	◎				○		
	20	環境・省エネルギーに貢献する製品を上市する	高性能熱伝導接着シート・光学制御フィルム新製品の上市				○		◎		
	21	経済負担を軽減する高品質な医薬品を提供する	バイオンミラーの早期上市とジェネリック抗がん薬の遅滞ない上市						◎		
	22	独自技術を応用した安価自動車用安全デバイスをグローバルに拡大し、人命保護に貢献する	海外拠点の新規立ち上げと生産設備増強						◎		
	23	ものづくり技術の継承により生産工場を維持継続する	ものづくりに関連した全社発表会・社内教育・情報共有の推進		○		◎				
	24	持続的に研究テーマを創生・遂行する	持続的に創生・遂行できる仕組みの構築		○					◎	

\*【SDS】Safety Data Sheet (化学物質安全性データシート)